

第35回(2020年)異文化コミュニケーション学会年次大会発表募集
大会テーマ:「困難な時代における異文化コミュニケーションのかたちを構想する」
2020年11月7日、8日、オンライン大会

異文化コミュニケーション学会は、第35回年次大会を2020年11月7日(土)、11月8日(日)に、オンラインで開催いたします。異文化コミュニケーション研究に関する発表をお待ちしております。以下の要項をお読みになり、期限までに奮って応募くださいますようお願い申し上げます。

大会委員長: ダイアン・佐々木(異文化コミュニケーション学会 副会長)

申し込み要項 (WEB入力の際に、封筒に記載されている8桁の会員番号が必要になります)

1. 発表者の氏名(共同発表の場合は、代表者を明記の上、全員の氏名)
 2. 所属機関(共同発表の場合は、全員)
 3. 連絡先住所、電話番号、メールアドレス(代表者のみ)
 4. 発表タイトル(使用言語で記述、提出後の変更不可)
 5. 発表形式と審査基準
 - a. 研究発表(オンラインでの抄録の公開)
当学会の研究内容にふさわしいか、また、目的、意義、方法、結論などが記述されているか。
 - b. 実践報告(オンラインでの抄録の公開)
異文化コミュニケーション活動に関する実践例を報告してあるか。
 - c. ワークショップ(オンラインでの抄録の公開)
問題解決、スキル習得などに役立つもので、参加者が体験を通して学ぶことができる内容であるか。
 - d. オンラインワークショップ (Zoom, 50分/100分)
オンライン(Zoom限定)によるワークショップで問題解決、スキル習得などに役立つもので、発表者がファシリテーターを務め、参加者が体験を通して学ぶことができる内容であるか。
 - e. ポスターセッション(非会員であっても、本学会の会員の推薦があった場合には発表できます)
異文化コミュニケーション研究に関する研究の紹介やテーマの説明ができているか。
- * 以上のa.~c.はすべて、会場での発表ではなく、抄録をオンライン上で公開する形で実施します。そのため、a.~c.については、参加者が公開された抄録原稿を読み、コメントをやり取りする形式で交流を行います。
- また、「d. オンラインワークショップ」とe.「ポスターセッション」はなんらかの形で、11月7日・8日開催の際にライブで披露する可能性を検討中です。
- *なお、以上のa.~e.のすべてにおいて、誤字脱字、文章の明瞭性や論理性なども審査の対象になります。
- 注意:(1)第1発表者としての発表はa.~e.のうち1回のみです。(2)審査の結果により、発表形式の変更(例えば、a.をb.に)や加筆・修正を前提に採用とすることがあります。なお、採用・不採用の理由については、いっさい開示できませんので、ご了承の上、お申し込みください。
6. 使用言語:英語なのか日本語なのかを明記 ※d.ワークショップについては、ワークショップの時間(長さ:50分もしくは100分)、参加できる人数も明記してください。また、具体的にどうZoomを使い(Breakout Roomなど)、どのようなサポートが必要かを明記してください。
 7. 発表の内容要旨(英語の場合は500語以内、日本語の場合は1500字以内。発表決定後、大会プログラムにそのまま掲載されますので、提出後は変更できません)
 8. 発表者(複数の場合はそれぞれの)プロフィール(使用言語で記述、英語50語以内、日本語100字以内)
 9. 問い合わせは、大会アドレスまでお願いいたします。

* 以上の発表応募資格は、上記 1 の発表者(あるいは代表者)が当学会会員または他地域の SIETAR 組織の会員であることです。また、発表代表者、共同発表者ともに大会参加費をお支払いいただきます。

*** 発表希望の方で学会(異文化コミュニケーション学会)へ新規入会される方の申し込み期限は7月 10 日(金)、また、全発表者の年会費納入期限は7月 17 日(金)です。**

応募期間:2020年7月1日(水)~2020年7月31日(金) 23:59 * 締切日以降のお申し込みは、いっさい受け付けません。

学会のホームページにてお申し込みの後、メールにて受領のご返答を差し上げます。1週間経っても受領の返答がない場合は、大会アドレスまでご連絡ください。査読の結果(合否)につきましては、2020年9月15日(火)までに、お知らせする予定です。

*** 大会アドレス: sietarjapanconference2020@gmail.com * 会員番号の問い合わせ: office@sietar-japan.org**